

「クリーン太田川」 河川一斉清掃に参加

～7 月「河川愛護月間」に 32 回目の開催、損保関係者が約 70 人参加～

日本損害保険協会中国・四国支部(委員長：中村 一樹・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員)は、7 月 6 日(日)、「クリーン太田川」河川一斉清掃に清掃ボランティアとして参加しました。

本清掃活動は 1992 年の太田川改修 60 周年・放水路概成 25 周年を契機に、太田川の環境美化に恒常的に取り組んでいくため、太田川水系の河川一斉清掃を実施し、太田川の清流を次世代に引き継いでいこうという考えのもと、広島市をはじめとした太田川流域の全市町村で、1993 年から 7 月を河川愛護月間として毎年開催され、今年で 32 回目になります。

当日は、クリーン太田川実行委員会会長の広島市 松井 一實市長による開会挨拶の後、各自が遊歩道や河川敷に落ちているごみを一つ一つ拾い集めました。本清掃活動事務局によれば、損保関係者約 70 人をはじめ、広島市等の約 160 の企業・団体から約 11,000 人が参加しました。

当支部では、自治体等と連携して、今後もボランティア活動に取り組んでまいります。



松井市長の開会挨拶



参加した損保関係者約 70 人



清掃活動の様子(1)



清掃活動の様子(2)